

県政の動き

6月11日(木)～8月10日(月)

- 6月13日(土) ★**口永良部島の噴火に係る安倍内閣総理大臣視察**
- 6月25日(木) ★**赤崎勇名城大学終身教授県民栄誉表彰授与式**
- 6月26日(金) ★**かごしま遊楽館来館者900万人達成記念セレモニー**
- 6月27日(土) **薬物乱用防止6・26ヤング街頭キャンペーン**
- 7月1日(水) **LCC(成田ー奄美大島) 就航1周年**
- 7月1日(水) ★**スペシャルオリンピックス 夏季世界大会出場選手の知事表敬訪問**
- 7月5日(日) ★**世界文化遺産登録決定**
- 7月8日(水) **農業開発総合センター開所10周年研究成果発表会**
- 7月8日(水)～8月12日(水) **自動車税納税お知らせセンター開設**
- 7月15日(水)～8月2日(日) ★**第36回霧島国際音楽祭**
- 7月18日(土) ★**「英国留学生派遣150周年記念 薩摩スチューデント」派遣出発式**
- 7月21日(火) **夏の交通事故防止運動**
- 7月22日(水) **国民体育大会開催内定書受領**
- 7月23日(木)～7月27日(月) ★**鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流**
- 7月29日(水) **マリノポートかごしま親水広場オープン**
- 8月7日(金) **かごしまこども環境大臣任命式**

★は写真入りで紹介

6月13日(土)

口永良部島の噴火に係る安倍内閣総理大臣視察



5月29日に発生した口永良部島新岳の噴火に係る被害状況を把握するため、安倍内閣総理大臣が島民が避難生活を送っている屋久島町を訪問した。

安倍総理は、伊藤知事や池畑県議会議長などとともに、屋久島町総合福祉センター「縄文の苑」や宮之浦公民館などの避難所を訪問し、避難者の方々から避難の状況などの聞き取りを行うとともに、避難している小中学生などへの激励を行った。

また、屋久島町役場宮之浦支所では、伊藤知事と荒木屋久島町長から安倍総理に対して、被害状況や避難状況について説明した後、今後の対応などについての意見交換が行われた。

6月25日(木)

赤崎勇名城大学終身教授県民栄誉表彰授与式



県では、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望と活力を与えるとともに、鹿児島県の名を高めることに顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民栄誉表彰」として表彰している。

今回は、本県出身者として初めてノーベル賞を受賞した名城大学終身教授の赤崎勇さん(南九州市知覧町出身)に、伊藤知事から表彰状および記念品が贈呈された。

赤崎さんは、青色発光ダイオード(LED)を世界で初めて実現し、平成26年12月10日に天野浩さん、中村修二さんらとともにノーベル物理学賞を受賞した。

かごしま遊楽館来館者900万人達成記念セレモニー

東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かごしま遊楽館」の来館者が900万人に達した。

900万人目の来館者は、東京都東久留米市在住の錦織敬子さん。かごしまPRキャラクター「ぐりぶー」のかわいさにひかれて初めて来館され、「これからはぜひリピーターになりたい」とのこと。

セレモニーでは、「ぐりぶー」も加わり、くす玉を割って節目の達成を祝った。

同館には、今後もイベントなどの開催で更なる誘客を図り、首都圏における本県物産と観光の受け皿として発信拠点として寄与することが期待される。



スペシャルオリンピックス 夏季世界大会出場選手の知事表敬訪問

知的障害のある人たちの4年に1度のスポーツの祭典「2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス」にバスケットボールとバドミントンの日本代表として出場する本県選手6人が伊藤知事を表敬訪問した。

知事は「本県から6人ももの日本代表選手が選ばれることは大変素晴らしいこと。大会では、日頃の練習の成果を存分に発揮して、大会を十分に楽しんできてほしい」と選手を激励した。

男子バスケット日本代表の副主将を務める奈良崎誠選手は「悔いのないように戦ってきます」と意気込みを語った。



世界文化遺産登録決定

ドイツのボンで開催された第39回ユネスコ世界遺産委員会において、本県の旧集城館などからなる「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録が決定した。

鹿児島市の仙巖園において、本県と鹿児島市が開催した「パブリックビューイング」では、約120人の県民の方々が世界文化遺産誕生の瞬間に立ち会い、会場は拍手に包まれた。

また、7月14日には、伊藤知事ほか関係自治体の首長などが、安倍晋三内閣総理大臣や関係大臣を訪問し、世界文化遺産登録に対して、直接謝意を伝えるとともに、今後の国の支援を要請した。



7月15日(水)～8月2日(日)

第36回霧島国際音楽祭



第36回霧島国際音楽祭は国内外から著名な音楽家や多数の受講生を迎え、みやまコンセールをメイン会場に県内各地でコンサートや講習会などを開催した。

今回は、堤剛音楽監督によるバッハ作曲「無伴奏チェロ組曲」全曲演奏に始まり、音楽祭の講師・アーティストなどがそろって一夜限りのスーパーオーケストラ「キリシマ祝祭管弦楽団」公演やダン・タイ・ソンのピアノ協奏曲など、多彩なプログラムで訪れた多くの聴衆を魅了した。

音楽祭開催期間中の参加者数は、1万8000人を超え、大盛況であった。

7月18日(土)

「英国留学生派遣150周年記念薩摩スチューデント」派遣出発式



派遣事業実行委員会は、薩摩藩英国留学生派遣150周年を記念した県内青少年19人の英国派遣を直前に控えた7月18日、留学生出発の地、いちき串木野市羽島の薩摩藩英国留学生記念館で出発式を開催した。

出発式では、団員を代表して羽島中学校3年の藤崎麗美さんが「当時の留學生がどのように苦労したのか学び、帰国後は多くの人々に留學生たちのことを伝えたい」と抱負を述べた。

一行は、7月19日から29日の行程で、留學生が学んだユニバーシティ・カレッジ・ロンドンにおいて交流プログラムへ参加した他、留學生ゆかりの地などを訪ねた。

7月23日(木)～7月27日(月)

鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流



鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流は、両県が宝暦年間(1701年)の木曾三川の治水工事を成し遂げた薩摩義士の偉業を縁として、姉妹県盟約を締結(昭和46年)したことをきっかけに、昭和47年からそれぞれの青少年の受け入れと派遣を相互に実施している。

今年は、本県青少年20人が岐阜県を訪問し、薩摩義士ゆかりの治水神社や清江寺で、両県の歴史的な深い関わり合いを学び、関鍛冶伝承館や白鳥おどり会場などを回り、岐阜県の文化・自然を体感し、また、グループ討議などの交流活動をおして、友情の絆を一層深めた。

なお、前日には両県の絆を生かした施策を展開するための「鹿児島県・岐阜県知事懇談会」が東京で行われた。